

商工中金からのお知らせ

SHOKO CHUKIN BANK



人を思う。未来を思う。

商工中金

2025年6月12日

商工中金

「株式の売買の仕組み」における「参照価格」提供の 一時中断継続について

平素は格別のご高配を賜り誠にありがとうございます。

商工中金は、本日（2025年6月12日）付で政府保有株式の自己株式取得を完了しました。併せて、入札に係る一連の手続きが全て完了したことで、2024年12月6日リリースの「参照価格」提供の一時中断事由は解消しましたが、「株式の売買の仕組み」（当金庫株式の証券会社の店頭扱いによる売買。下記及び当金庫ウェブサイト <https://www.shokochukin.co.jp/share/stocks/trade/> をご参照ください。）を取り扱う野村証券株式会社（以下「野村証券」といいます。）に対する「参照価格」の提供を以下の理由から中断することを改めて決議いたしましたので、お知らせいたします。

1. 入札に係る一連の手続き完了後も、「参照価格」の提供を中断する理由

「参照価格」は、「株式の売買の仕組み」において、野村証券がつけ合わせをする際の「基準価格」を決定するための参考情報であり、これまでは3月期、9月中間期の決算に基づく簿価純資産方式で算出した1株当たりの価格としておりました。

今般、入札に係る一連の手続きが全て完了したことから、直近の決算を踏まえた「参照価格」の提供再開を検討しておりましたが、自己株式の取得により、2025年9月中間期の連結貸借対照表に基づく1株当たりの価格は、上昇する見込みであります。このような中、従来の「参照価格」の算出方法に基づいて提供を再開することは適切ではないと判断し、「参照価格」の提供中断を継続することといたしました。

2. 「参照価格」の提供中断期間における「株式の売買の仕組み」について

提供中断期間における「株式の売買の仕組み」においては、「基準価格」233円（当金庫が直近で提供した2024年3月期の連結貸借対照表に基づき簿価純資産方式で算出した1株当たりの簿価純資産価額233円を参考に、野村証券において決定したもの）の上下10%以内、ただし下限は直近約定価格の173円、の1円単位の価格（173円～256円です。）による指値注文を受け付けます。

3. その他

2025年3月期の連結貸借対照表に基づく1株当たりの簿価純資産額は232円です。ただし、上記のとおり、自己株式取得完了後の本年9月中間期に基づくこの価格は、同様の算出方法であっても変動が見込まれます。

「参照価格」の取扱いに関し、追加の決定がありましたら、速やかにお知らせいたします。

商工中金からのお知らせ

SHOKO CHUKIN BANK



人を思う。未来を思う。

商工中金

《株式の売買について》

当金庫の株式は、以下の方法により、売買を行うことができます。

(1) 相対売買

- ・他の組合や構成員と相対で売買する方法です。買い手は、株式名簿管理人に名義書換を請求することになります。

(2) 証券会社の店頭扱いによる売買

- ・相対売買による方法では売買相手を見つけることが困難な売買希望者のために、証券会社の店頭扱いによる売買の仕組みを用意しており、野村証券の日本国内の本支店で売買の注文を行うことができます。野村証券では、現在、当金庫から提供された「参照価格（※）」をもとに、野村証券が定めた「基準価格」の一定の値幅の範囲内で指値注文を受け付けております。「参照価格」は、当金庫の決算時（3月期、9月中間期）の連結貸借対照表に基づき簿価純資産方式で算定した1株当たりの価格とし、野村証券への提供を行っていましたが、上記のとおり、改めて「参照価格」の提供を中断することを決議いたしました。

(※)「参照価格」は、「株式の売買の仕組み」において、野村証券がつけ合わせをする際の「基準価格」を決定するための参考情報であり、当金庫として「参照価格」で当金庫株式の売買が行われることを推奨するものではありません。